

令和2年度

浅科人权文化センター運営委員会

資料

隣保館の歴史

昭和28年度の国家予算に、初めて同和地区に隣保館を建設する経費の補助金が計上され、その後、同和対策事業特別措置法制定を契機として全国に隣保館の整備が図られた。平成9年特別措置法が失効したことにより、同和対策施設から社会福祉施設へと変わり現在に至る。

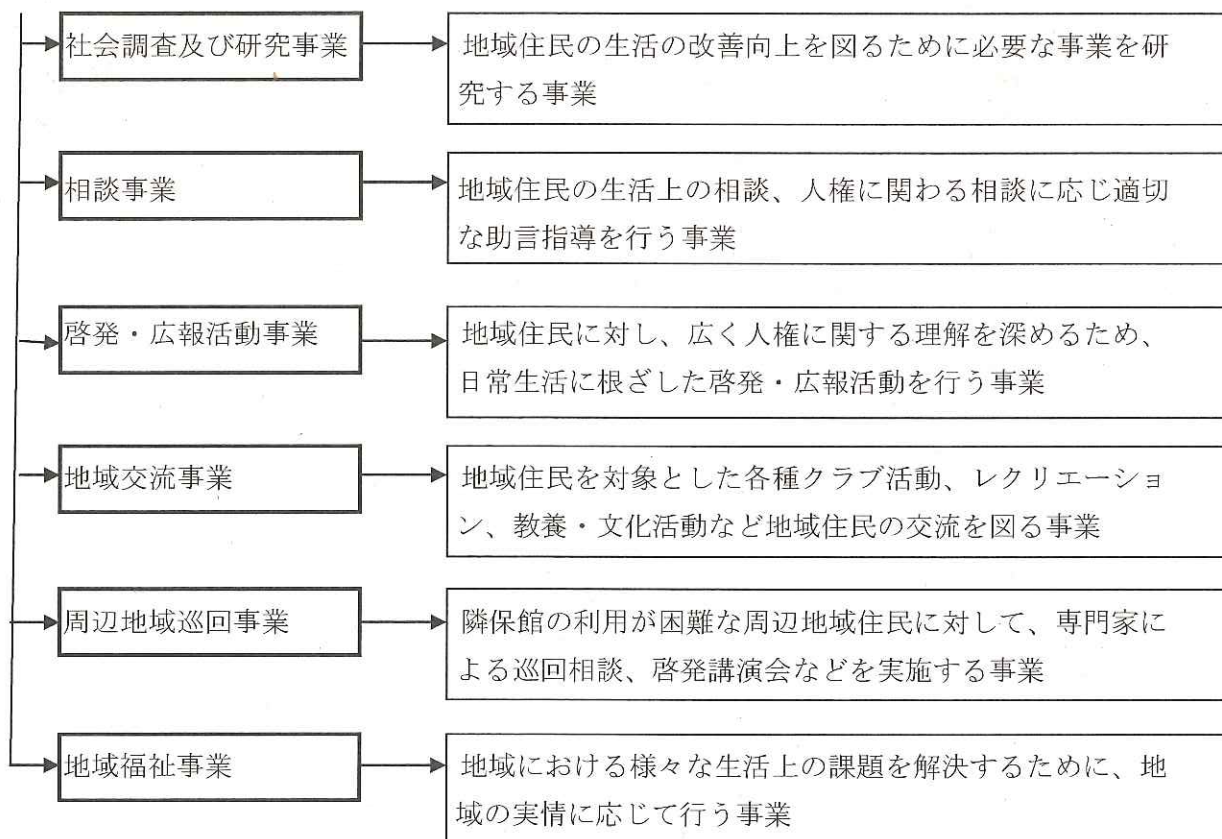
隣保館の目的

隣保館は、地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行うものとする。

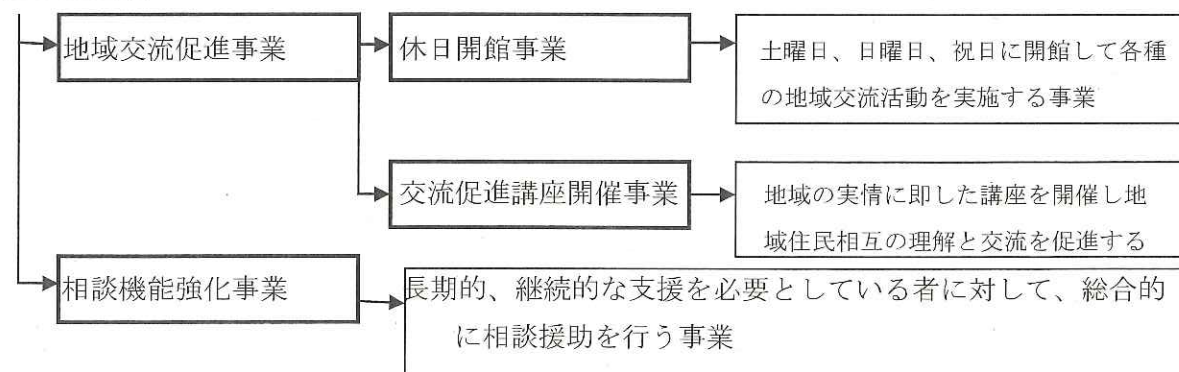
隣保館事業の体系

H14.8.29 厚生労働事務次官通知隣保館設置運営要綱より

基本事業



特別事業



(1) 令和元年度(2019年度)浅科人権文化センター事業報告

事業名	実施主体	事業内容	実施日/対象者	回数	人件数	事業の方向性・検討課題
基本事業						
社会調査及び研究事業	浅科	① 人権同和教育・人権啓発に係る講演会や研修に出席 長野県隣保館連絡協議会総会（長野市） 長野県隣保館関係職員研修会（長野市） ② 訪問等による地区世帯状況等の把握	4/19 2/12 随時	2	3人	研修会等に積極的に参加し、他市町村の隣保館関係職員と積極的に情報交換する中で各種事業に生かしていく。
相談事業	浅科	○生活、福祉、健康、就労、融資、年金、教育、住宅、人権相談等の対応 ① 個別訪問による相談活動 ・生活相談員により地区の独居老人世帯を重点において訪問し、解放長生き会への参加の呼びかけや、相談・言葉かけを行ってきました。 ② 来館者や電話での相談 ・内容に応じ関係機関と連携して助言指導を行ってきました。 ③ 健康相談 ・長生き会の折に保健師・看護師による健康相談	随時		85件	相談をととして地域の課題や住民ニーズ等発見し対応するとともに、予防していく。 相談ごとの回答やアドバイスを提供するにとまらず「悩み事」をかかえた相談者に対する心のケアの場とする。
啓発・広報活動事業	浅科	《人権広報活動》 ① 「浅科人権文化センターだより」の発行 ・内容は当館の行事予定・報告や、人権研修会の報告など行事の内容写真を多く取り入れ、見やすく興味を持っていただくように工夫しました。地区内への配布にあつては訪問して会話を心がけてきました。（地区内、センター運営委員、部落差別撤廃人権擁護審議会委員） ② 人権教育啓発関係ビデオの貸し出し（在庫 200本） ③ 人権パネルの展示 ・人権啓発ポスター、パネルを展示 ④ 広報活動 ・「隣保館だより」の発行（広報佐久3月号別冊）市内全戸と関係機関への配布し、隣保館で実施された事業、次年度実施される予定の教室などを周知した。 ⑤ 解放新聞、ハローワーク求人情報、情報誌等の提供	7月 11月 1月 3月 通年 常設 3月 通年	年 4 回	252部 1	紙面による活動は、住民に広く読んでもらうことが目的であるので、期待され喜ばれる紙面作成に細心の努力が必要とされる。
		《地区内人権啓発活動（地域人材育成）》				
		① 小・中学校教諭、運動団体役員との人権懇談会	10/25	1	27	同和問題をよく理解する学習の場となっており、ここで学んだことを同和教育に生かしていくことが期待される。
		《地区内外の人権啓発活動》				
		① 人権啓発講演会 ・人権問題について 講師：柴平浩文（職員）	12/6	1	8	人権について学ぶ良い機会となり、地域での人権意識の啓発に寄与するが期待される。

事業名	実施主体	事業内容	実施日/対象者	回数	人件数	事業の方向性・検討課題
地域交流事業		① 地域内外の交流活動（料理教室・音楽教室）	毎月	11	91	できるだけ多くの方に参加していただけるように内容の充実を検討していく。
周辺地域巡回事業	浅科	訪問指導により高齢者や障がい者、一人世帯等の家庭を巡回訪問し、健康や介護等の相談に応じて状況を把握し、指導を行ってきた。	随時			事業開催のチラシ等を配布時を利用し、高齢者等が気兼ねせずに相談できる関係を構築していく。
地域福祉事業	浅科	① 長生き会健康教室 （血圧、健康相談・料理教室等） ② 長生き会生きがい研修 ・小海町高原美術館、八峰の湯 ・望月歴史民俗資料館、長門やすらぎの湯 ・春日温泉 ゆざわ荘	7/12 1/17 2/7 5/10 9/13 12/9	3 3	18 11	会員の高齢化もあり、長生き会の回数を検討する必要がある。
特別事業						
地域交流促進事業	浅科	《 休日開館事業 》 ・年間25日休日を開館して以下の事業を実施しました。 ① 浅科担当の人権擁護委員・人権相談員さんによる、浅科地区全域の生活人権相談 ② 絵手紙教室 ③ 成人書道教室 ④ 休日交流	毎月第3土曜日 毎月第1土曜日 5/6 8/4	12 12 1 1	2 187 8 35	人権相談については、引き続き防災無線放送で周知する。また、絵手紙教室においては、受講者が今後も増えるようであれば、募集停止の検討をする必要がある。休日交流においては、来年度も引き続き浅科支部との交流会を計画したい。
		《 交流促進講座開催事業 》 ① 書道教室（児童生徒対象） ② 書道教室（成人・高校生・中学生対象） ③ 大正琴教室 ④ 手芸教室 ⑤ 初級パソコン教室 ⑥ 児童英語教室（5年） ⑦ 児童英語教室（6年） ⑧ 中学英語教室 ⑨ 中学英語教室（補習）	毎週水曜日 毎週月曜日 4/24 5/8 5/22 毎月第1木曜日 6月～12月第1・3金曜日 5月～毎週木曜日 5月～毎週火曜日 6月～毎週金曜日 夏休み	37 32 3 11 13 28 28 28 9	331 252 20 88 87 183 164 255 20	地域の実態に即して、教室開催を決めていく必要がある。
		① 関係機関、団体と連携しての継続的相談活動 ② 長期的・継続的な相談を通じて地域住民の自立向上を目的とした、支援方策検討会	随時			引きこもり等の生活を総合的に支えていくために、各関係機関と情報交換や連携を通じ対応していく。

事業名	実施 主体	事業内容	実施日/ 対象者	回 数	人. 件 数	事業の方向性・検討課題
その他事業						
その他	浅 科	① 人権・男女共生フェスティバル 隣保館事業の発表、作品展示等を行いました。 (絵手紙、手芸、書道) ② ホームページの有効活用	1/26 通年	1		人権フェスティバルに多くの 作品を展示してもらえるように 事前に呼びかける。

隣保館活動状況

【浅科人権文化センター】

1 相談事業実施状況

相 談 事 項	令和元年度相談件数	平成30年度相談件数
生活相談（生活・人権等相談）	19	44
健康相談（健康診断）	38	55
職業相談（就職・失業保険）	2	0
事業相談	0	0
教育相談	26	8
計	85	107

2 事業実施状況

事 業 名	令和元年度		平成30年度	
	開催回数	参加人員	開催回数	参加人員
啓発・広報活動事業	1	8	2	21
地域交流事業	11	91	7	80
地域福祉事業	6	29	10	59
休日開館事業	25	232	25	240
交流促進講座開催事業 （休日開館は除く）	189	1,400	140	1,217
計	232	1,760	184	1,617
人権センター通信等の発行	4	地区全戸配布他 (63部/回)	4	地区全戸配布他 (69部/回)

(2) 令和2年度 浅科人権文化センター事業計画(案)

事業名	実施主体	事業内容	実施日	回数
基本事業				
社会調査及び研究事業	浅科	① 県隣保館関係職員研修会等出席 ② 県隣保館先進地視察研修出席 ③ 人権同和教育・人権啓発に係る講演会や研修に出席		3
		④ 訪問等による地区世帯状況等の把握	随時	
相談事業		① 個別訪問による相談活動 地区の独居老人世帯を重点において訪問し、解放長生き会への参加の呼びかけや、相談・言葉かけを行っていきます。	随時	
		② 来館者や電話での相談 内容に応じ関係機関と連携して助言指導を行っていきます。	随時	
		③ 長生き会などでの相談 健康相談など事業参加時に相談を受け、助言指導などを行う。	事業実施時	
啓発・広報活動事業	浅科	《 人権広報活動 》		
		① 同和地区内への通信(人権文化センターだより)発行 内容は当館の行事予定・報告や、人権研修会の報告など行事の内容写真を多く取り入れ、見やすく興味を持っていただくように工夫していきます。(地区内、センター運営委員、部落差別撤廃人権擁護審議会委員)		4
		② 人権教育啓発関係ビデオの貸し出し(在庫 200本)	随時	
		③ 人権パネルの展示	常設	
		④ 「隣保館だより」の発行(広報佐久3月号別冊) 市内全戸へ配布し、また関係機関への配布をし隣保館事業内容の取り組みを周知していきます。		1
		《 地区内人権啓発活動(地域人材育成) 》		
		① 小中学校教諭と運動団体役員との人権懇談会	10/30	1
		《 地区内外の人権啓発活動 》		
		① 人権啓発講演会 ・高野清雄さん		2
		② 浅科支部夏季地域交流会支援		1
周辺地域巡回事業	浅科	訪問指導により高齢者や障がい者、一人世帯等の家庭を巡回訪問し、健康や介護等の相談に応じていく。	随時	

事業名	実施主体	事業内容	実施日	回数
地域福祉事業	浅科	① 長生き会健康教室 (血圧測定・健康相談・料理・音楽教室等)		2
		② 長生き会生きがい研修		2
特別事業				
地域交流促進事業	浅科	《 休日開館事業 》		
		① 浅科担当の人権擁護委員・人権相談員さんによる、浅科地区全域の生活人権相談	毎月第3土曜日	12
		② 絵手紙教室	毎月第1土曜日	9
		③ 休日中学英語教室	休日	3
		④ 浅科支部夏季地域交流会支援		1
		《 交流促進講座開催事業 》		
		① 書道教室 (児童生徒対象)	毎週水曜日	31
		② 書道教室 (成人・高校生・中学生対象)	毎週月曜日	27
		③ 大正琴教室	毎月第2・4水曜日	18
		④ 手芸教室	毎月第1木曜日	9
		⑤ 初級パソコン教室	7月～12月第1・3金曜日	12
		⑥ 児童英語教室 (5年生)	毎週火曜日	26
		⑦ 児童英語教室 (6年生)	毎週木曜日	24
		⑧ 中学英語教室 (1年)	毎週火曜日	35
		⑨ 中学英語教室 (2年)	毎週金曜日	35
相談機能強化事業	浅科	① 関係機関、団体と連携しての継続的相談活動。	随時	
		② 長期的・継続的な相談を通じて地域住民の自立向上を目的とした、支援方策検討会	随時	2
その他事業				
		① 人権・男女共生フェスティバル 作品展示 (絵手紙、手芸、書道) 佐久平交流センター	11/29	
		② ホームページの更新	随時	

浅科人権文化センター運営委員会名簿

(任期:令和元年5月23日～令和3年5月22日)

	役 職 名	氏 名	備 考
1	浅科地区 上原区長	佐藤 潔	会長
2	部落解放同盟佐久市協議会 浅科支部長	高野 清雄	職務代理
3	部落解放同盟佐久市協議会 浅科支部 書記長	高野 秋男	
4	佐久市身体障害者協会 浅科地区長	山浦 久	
5	生活人権相談員	山岸 明雄	
6	生活人権相談員	土屋 浪子	
7	浅科地区 区長会長 (塩名田区長)	丸山 和之	
8	浅科地区 矢嶋区長	青木 要	
9	浅科小学校校長	中西 裕一	
10	浅科中学校校長	中川 満英	